

# 初台 地形・痕跡マップ

暗渠の痕跡を探すと、当時の地形が見えてくる！  
提灯を辿ると初台の地域が見えてくる！

## 初台阿波踊りの提灯

昭和45年から代々木八幡宮の例祭にともない毎年9月22・23日に高店街の活性化として開催される「初台阿波踊り」。出演者数延べ1200名以上のこの祭事の際に、町中のいくつかの場所で提灯を散見することができる。

この提灯は初台の字(あざ)を表していることが地図と照らし合わせることでわかった。この提灯は、いわゆる地域を領域を示す結界の役割を持っている。

①



②



③



## 渋谷川水系

東京都渋谷区の宮益橋から天現寺までの2.6kmを流れる二級河川を渋谷川という。これは開渠の部分の話で、その上流は初台や盛塚の近くにまじり、東京都心を代表する一大水系である。JR渋谷駅以北の上流部は1960年代半ばに暗渠化しており、初台地域には渋谷川の最大支流である宇田川の工の上流部に位置する、「初台川」が流れているが暗渠化されている。また、玉川上水跡、渋谷川の他に、飲用/灌漑用の水路として使われていた玉川上水の暗渠も初台の地形を象徴するように存在する。

## 暗渠とは？

地下に埋設し、水をかけたり水路(大排水) → 何らかの要因によって水面が見えなくなつた川や水路のこと。今はもうなくなつてしまつても、また川や水路も含むこともある。単に、こうして水面が見えなくなる川や水路を「開渠」という。

④



⑤



⑥

